



2012年3月期第1四半期決算説明会



新日本製鐵株式會社
2011年7月27日

目次

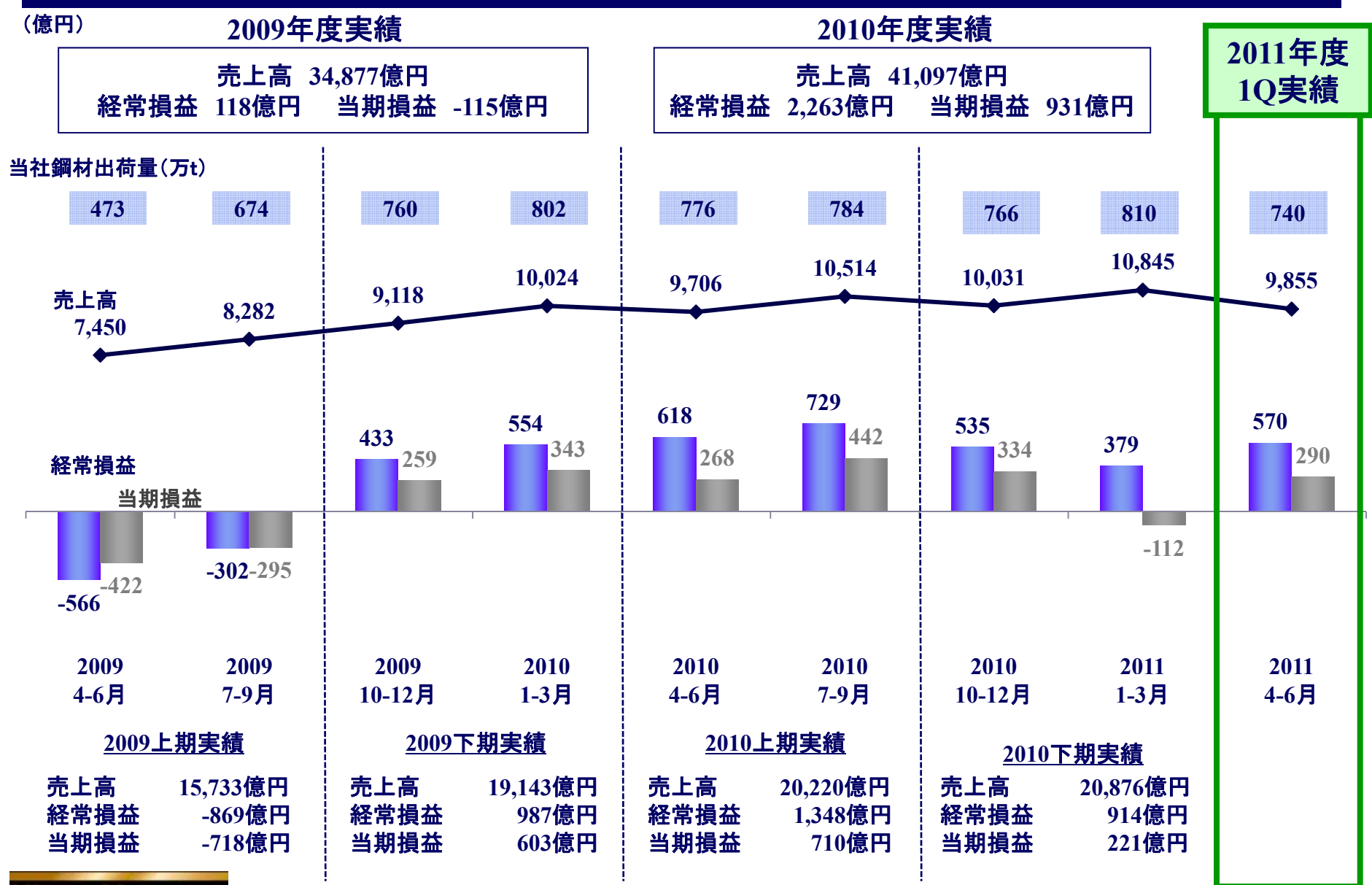
1. 2012年3月期第1四半期決算実績
2. 2012年3月期上期・年度決算見通しについて
3. ご参考

常務取締役 太田 克彦

1. 2012年3月期第1四半期決算実績



2012年3月期第1四半期 連結決算実績概況



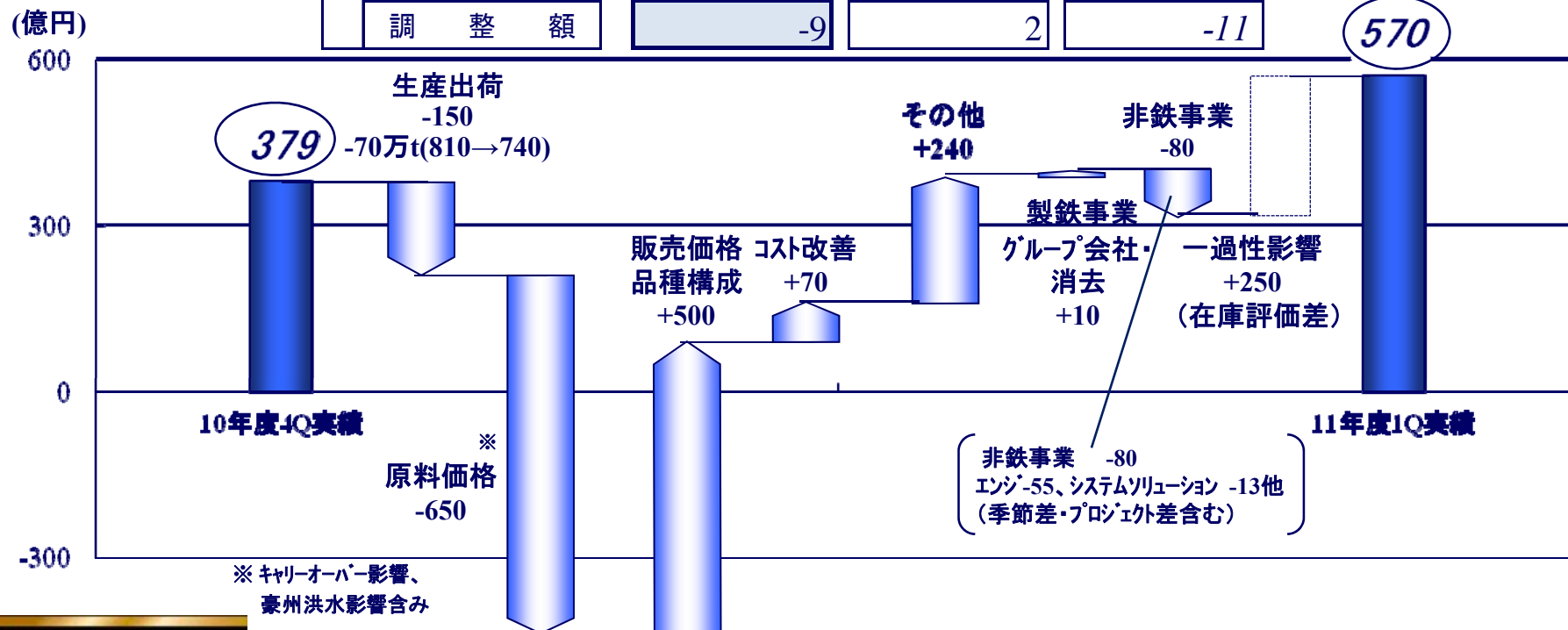
2012年3月期第1四半期 損益実績(連結・単独)

(単位:億円)	11年度 1Q実績	10年度 4Q実績	増減
売上高	9,855	10,845	-990
営業損益	385	135	+250
経常損益	570	379	+191
単独	338	68	+270
グループ会社等	231	311	-80
特別損益	-74	-335	+261
株式売却損	*1 -74	-	-74
震災影響	-	-237	+237
その他	-	-98	+98
当期損益 〈一株当たり当期利益〉	290 <4.6>	-112 <-1.8>	+402 <+6.4>
有利子負債残高	13,576	13,378	+198
D/E レシオ	0.73	0.72	+0.01

・1 ブラジル/NAMISA株式を保有する日伯鉄鉱石(株)の売却損失(取得時からの為替変動相当)。

2012年3月期第1四半期連結経常損益分析(対10年度4Q実績)

(単位:億円)	11年度 1Q実績 (A)	10年度 4Q実績 (B)	増減 (A←B)
売上高	9,855	10,845	-990
経常損益	570	379	+191
単独	338	68	+270
鉄グループ会社	147	139	+8
非鉄	93	167	-74
調整額	-9	2	-11



連結貸借対照表 (2011/3月末→2011/6月末)

(単位: 億円)

資産の部	11/06末	11/03末	増減	負債及び純資産の部	11/06末	11/03末	増減
流動資産	17,187	17,105	+82	流動負債	13,116	13,583	-467
現金及び預金	754	727	+27	支払手形及び買掛金	4,625	4,765	-140
受取手形及び売掛金	4,099	4,599	-500	短期借入金・コマーシャルペーパー・社債	3,397	3,421	-24
たな卸資産	9,564	9,292	+272	その他	5,093	5,395	-302
その他	2,769	2,486	+283				
				固定負債	12,787	12,615	+172
				社債・長期借入金	10,104	9,875	+229
固定資産	32,623	32,902	-279	その他	2,683	2,740	-57
有形	18,425	18,183	+242	負債計	25,904	26,199	-295
無形	633	626	+7	株主資本	18,045	17,943	+102
投資等	13,564	14,092	-528	その他の包括利益	653	664	-11
(うち時価評価差額)	(1,501)	(1,758)	(-257)	少数株主持分	5,207	5,201	+6
				純資産計	23,906	23,809	+97
資産計	49,810	50,008	-198	負債及び純資産計	49,810	50,008	-198

2. 2012年3月期上期・年度決算見通しについて



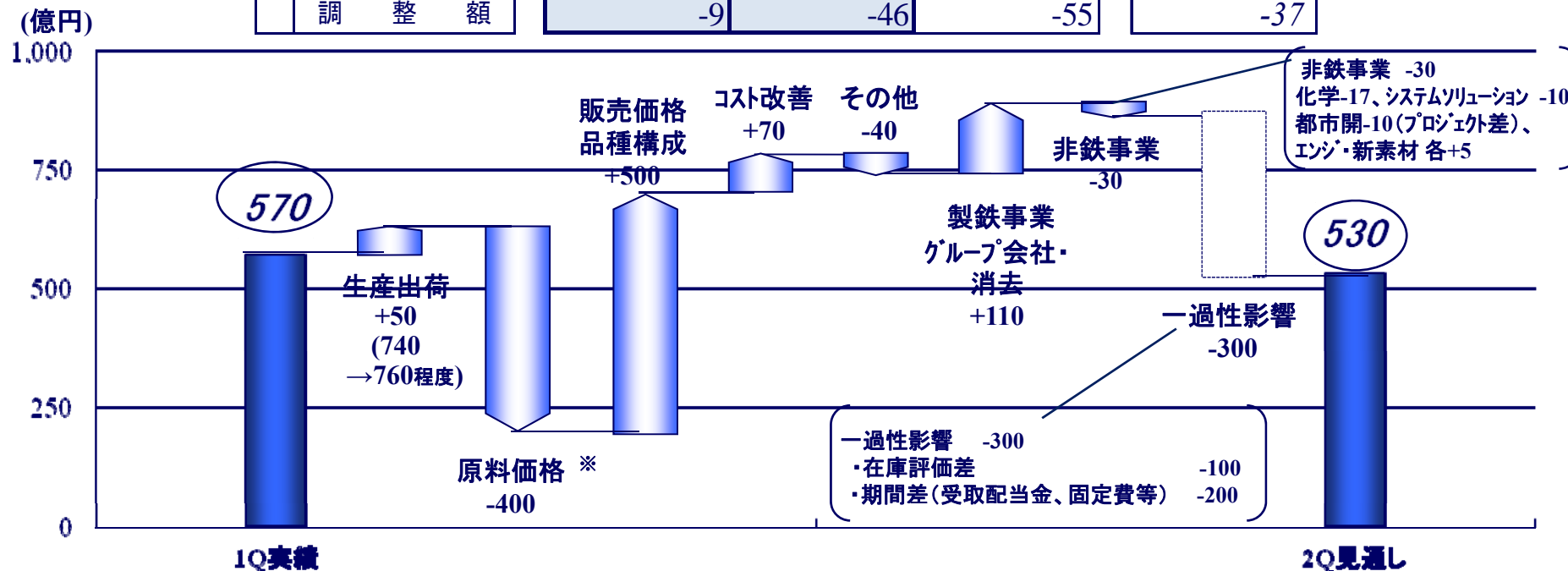
2012年3月期上期・年度決算見通し(連結・単独)

(単位:億円)

			11年度 上期見通し (A)	10年度 下期実績 (B)	増減		11年度 見通し
	1Q実績	2Q見通し			(1Q 実績 → 2Q 見通し)	(10 下期実績 → 11 上期見通し)	
売上高	9,855	11,145	21,000	20,876	+1,290	+124	
営業損益	385	515	900	474	+130	+426	
経常損益	570	530	1,100	914	-40	+186	2,300
単独	338	262	600	193	-76	+407	1,000
グループ会社等	231	269	500	721	+38	-221	
特別損益	-74	-	-74	-337	+74	+263	
当期損益	290	260	550	221	-30	+329	
<一株当たり当期損益>	<4.6>	<4.1>	<8.7>	<3.5>	<-0.5>	<+5.2>	
有利子負債残高	13,576						
D/E レシオ	0.73						

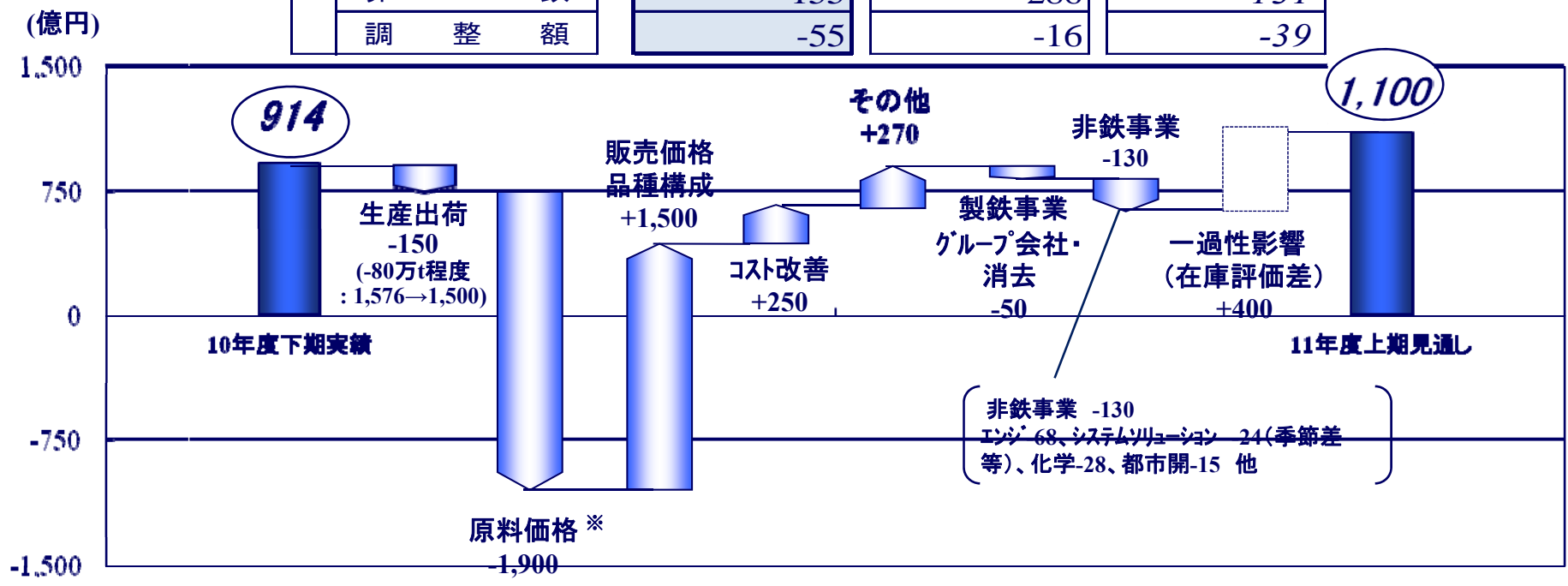
2012年3月期上期連結経常損益分析(2Q見通し対1Q実績)

(単位:億円)	11年度		11年度 上期見通し	増減 (A→B)
	1Q実績 (A)	2Q見通し (B)		
売上高	9,855	11,145	21,000	+1,290
経常損益	570	530	1,100	-40
単独	338	262	600	-76
鉄グループ会社	147	253	400	+106
非鉄	93	62	155	-31
調整額	-9	-46	-55	-37



2012年3月期上期連結経常損益見通し(対10年度下期実績)

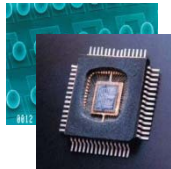
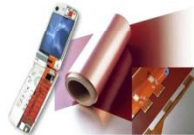
(単位:億円)	11年度 上期見通し (A)	10年度 下期実績 (B)	増減 (A←B)
売上高	21,000	20,876	+124
経常損益	1,100	914	+186
単独	600	193	+407
鉄グループ会社	400	450	-50
非鉄	155	286	-131
調整額	-55	-16	-39



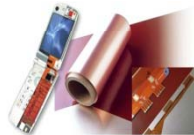
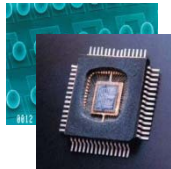



※ キャリーオーバー影響、豪州洪水影響含む



製鉄以外5事業セグメントの概況(11年度上期見通し)



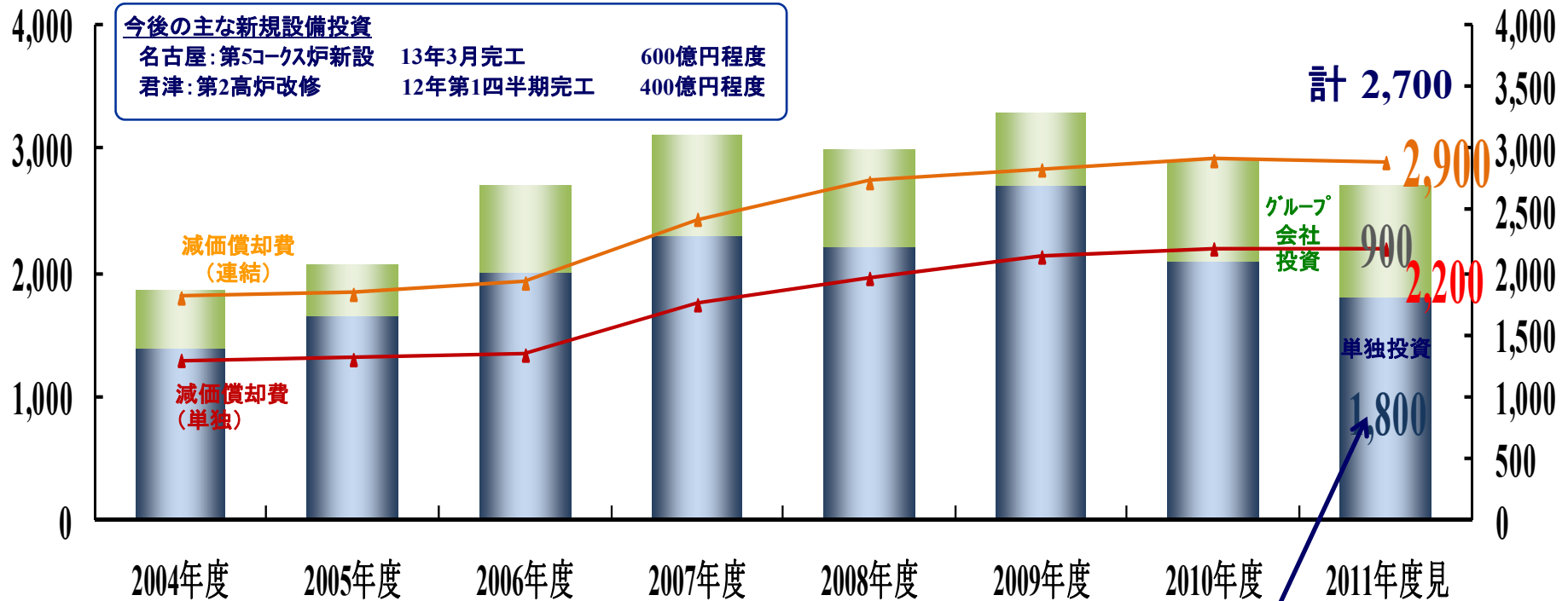
		売上高	経常損益	概況	11年度見 経常損益												
 エンジニアリング 製鉄プラント、環境ソリューション、 海洋、エネルギー、橋梁、建築	11年度上期見通し (対前年同期比)	1,100 (-136)	10 (-60)	受注規模は回復したが、競争激化による利益率低下等に加え、売上の上下規模差もあり、経常利益10億円でとどまる。プロジェクト収益改善努力、コスト削減等により年度では120億円の収益確保を目指す。 <table border="1" data-bbox="1680 430 1859 574"> <tr> <td colspan="3">cf) 事業環境</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10FY</td> <td>11FY見</td> </tr> <tr> <td>受注高</td> <td>3,345</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>受注残</td> <td>3,100</td> <td>3,300</td> </tr> </table>	cf) 事業環境				10FY	11FY見	受注高	3,345	3,000	受注残	3,100	3,300	120 (-28)
	cf) 事業環境																
	10FY	11FY見															
受注高	3,345	3,000															
受注残	3,100	3,300															
 都市開発 住宅、都市開発、 大規模地域開発、ビルマネジメント	11年度上期見通し (対前年同期比)	300 (-87)	35 (-7)	前年同期にマンション分譲事業で大型物件の竣工があったことの反動等により減収減益の見込み。	70 (-22)												
	 化学 コルケカル、化学品、機能材料	11年度上期見通し (対前年同期比)	1,000 (+56)	55 (+6)	コルケカル事業を中心に震災影響が残るものの、売上高は、化学品市況上昇により、前年同期比増収の見通し。経常損益は、震災影響等により事業損益は悪化するが、在庫評価益の計上等もあり、対前年同期微増。	130 (-2)											
 新素材 半導体・電子産業部材、 産業基礎部材、エネルギー・環境部材		11年度上期見通し (対前年同期比)	300 (-9)	10 (-5)	半導体・電子部材等の在庫調整、円高による収益圧迫及び、炭素繊維の能力増強を目的とした新規大型設備稼働に伴う償却費増等の影響により、減収減益。	20 (-1)											
	 システムソリューション 業務ソリューション、基盤ソリューション ビジネスサービス	11年度上期見通し (対前年同期比)	750 (+13)	45 (+1)	厳しい事業環境が継続するものの、売上高は、基盤ソリューション(クラウド関連)を中心に対前年増収。経常損益に関しては、増収による売上総利益の増加があるも、販管費の増により、対前年同期比微増の見込み。	115 (+2)											
非鉄計		3,450 (-165)	155 (-65)		455 (-51)												

設備投資・減価償却費

上段：連結 (下段：単独)	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度 見通し
設備投資額	1,850 (1,400)	2,050 (1,650)	2,700 (2,000)	3,100 (2,300)	3,000 (2,200)	3,300 (2,700)	2,900 (2,100)	2,700 (1,800)
減価償却費	1,805 (1,299)	1,833 (1,306)	1,925 (1,342)	2,440 (1,749)	2,737 (1,963)	2,840 (2,136)	2,915 (2,201)	2,900 (2,200)

減価償却費(億円)

設備投資額(億円) 工事ベース



安価原料使用拡大対策 能力増強・高級鋼対応 コスト削減
 老朽更新・補修 製造基盤整備・安全防災環境

剰余金の配当(第2四半期末)について

当第2四半期末(中間期末)の剰余金の配当方針につきましては、
既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、
1株につき1.5円(連結配当性向17%)とさせていただく方針と致します。

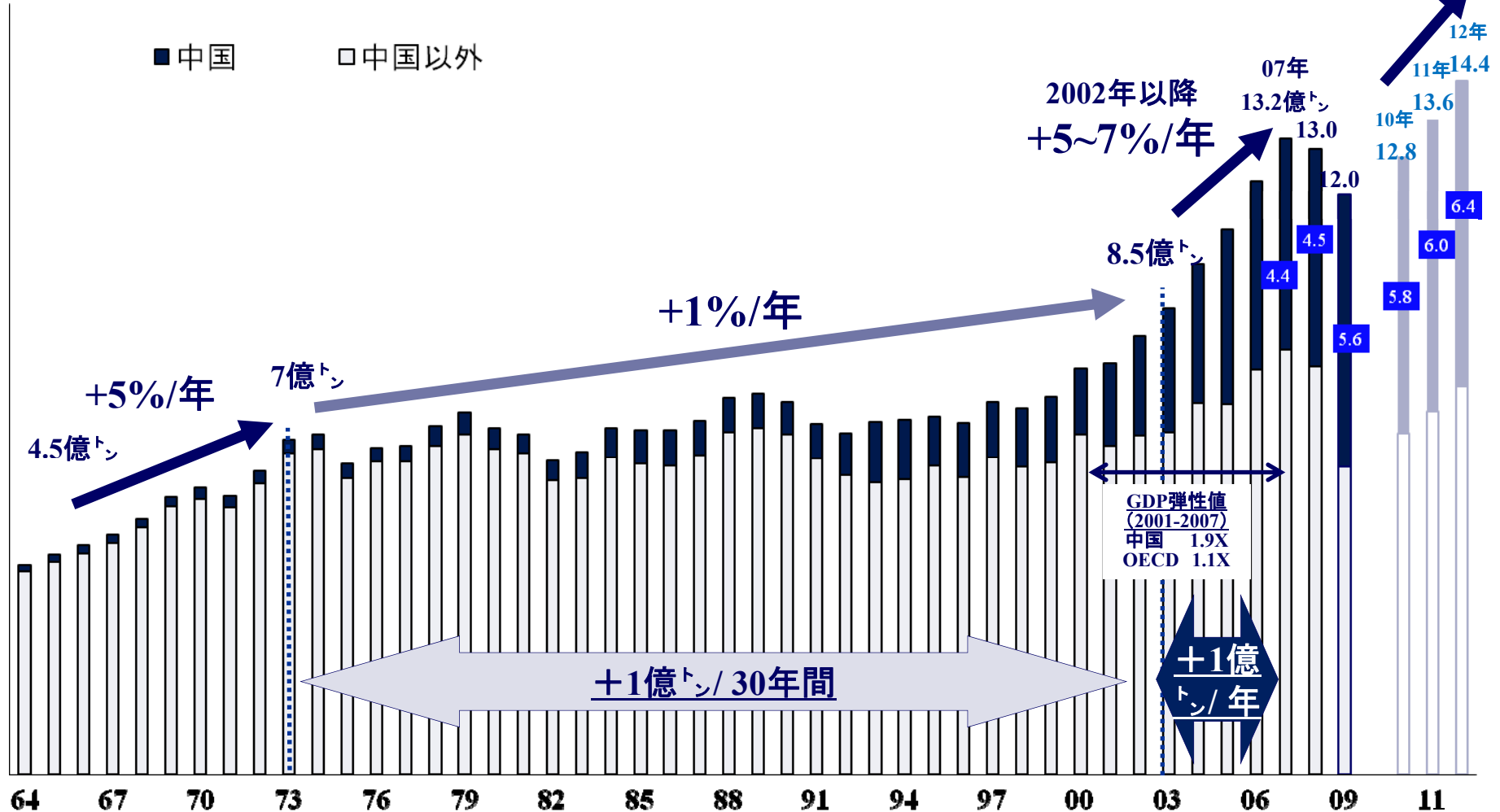
なお、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、
公表する予定と致します。

3. ご参考



世界の鉄鋼需要推移(粗鋼見掛消費)

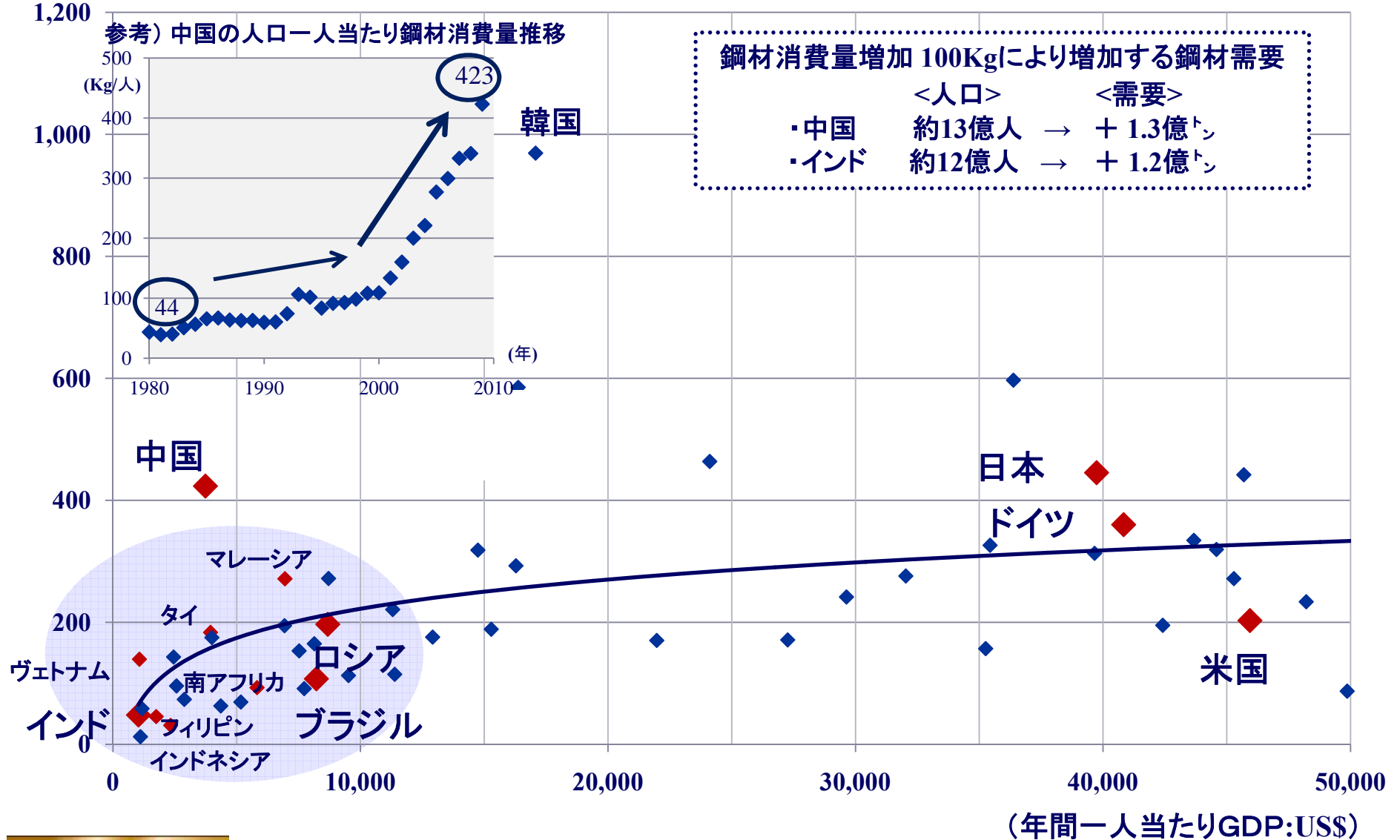
世界合計 <2008年> 13.0億トン → <09年実績> 12.0億トン → <10年実績*> 12.8億トン → <11年予測*> 13.6億トン → <12年予測*> 14.4億トン
 (*10~12年は鋼材見掛消費(11年4月WSA発表))



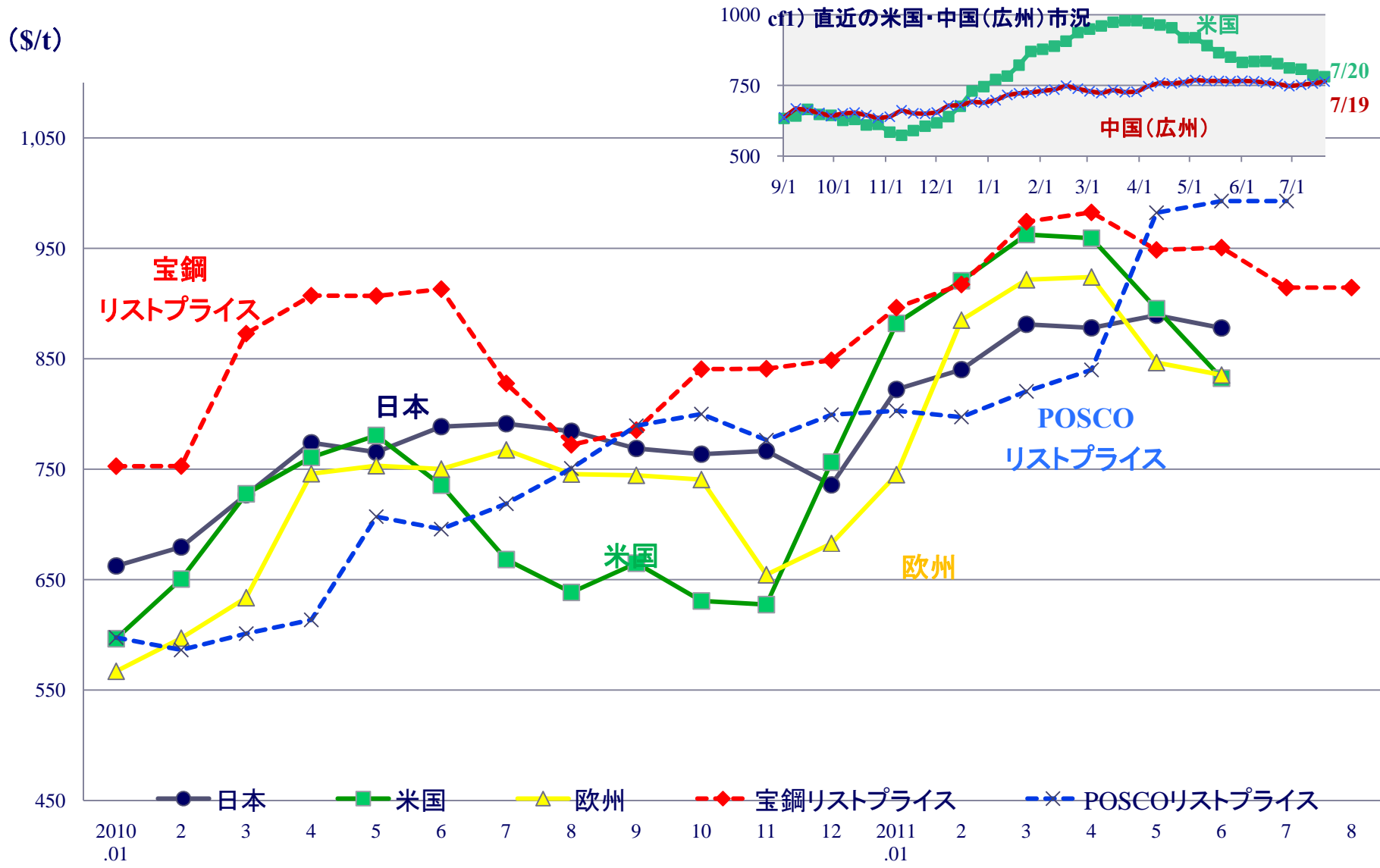
各国一人当たり鋼材消費量とGDPの相関関係

(年間一人当たり鋼材消費量:Kg)

*2009年数値より算出



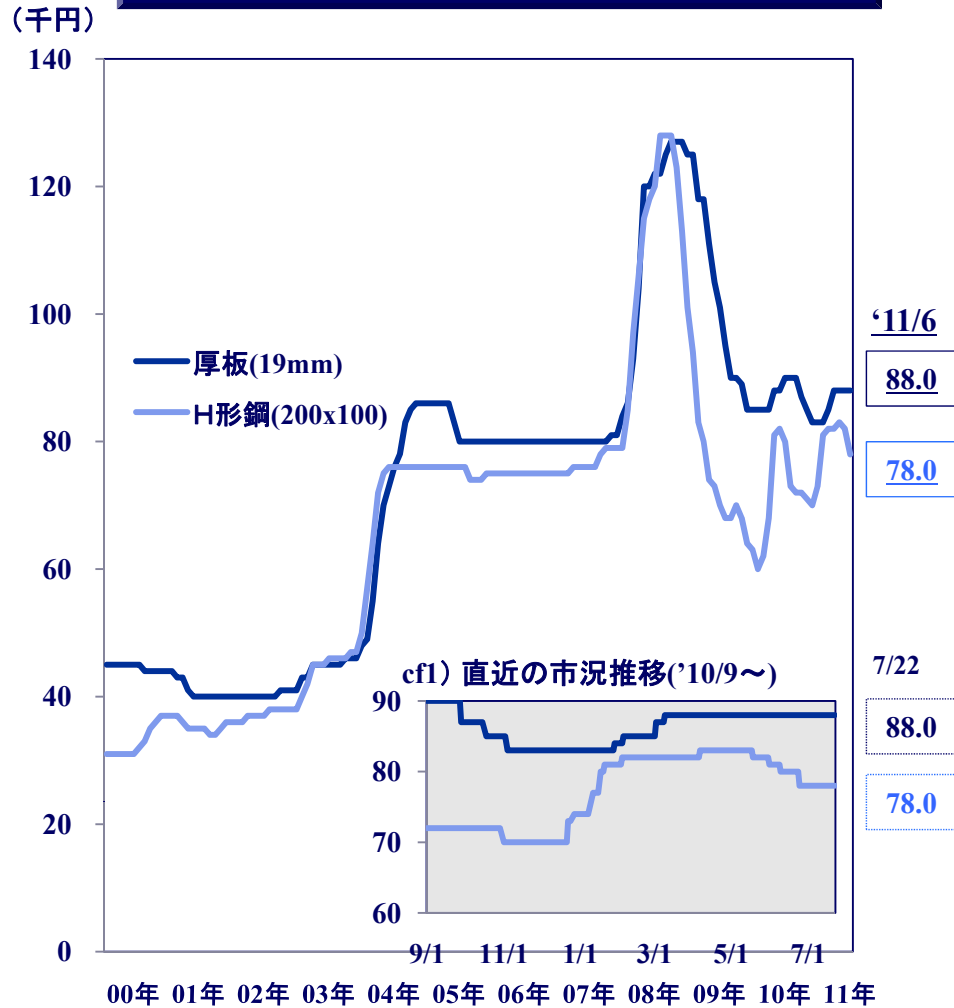
世界各国ホットコイル市況推移



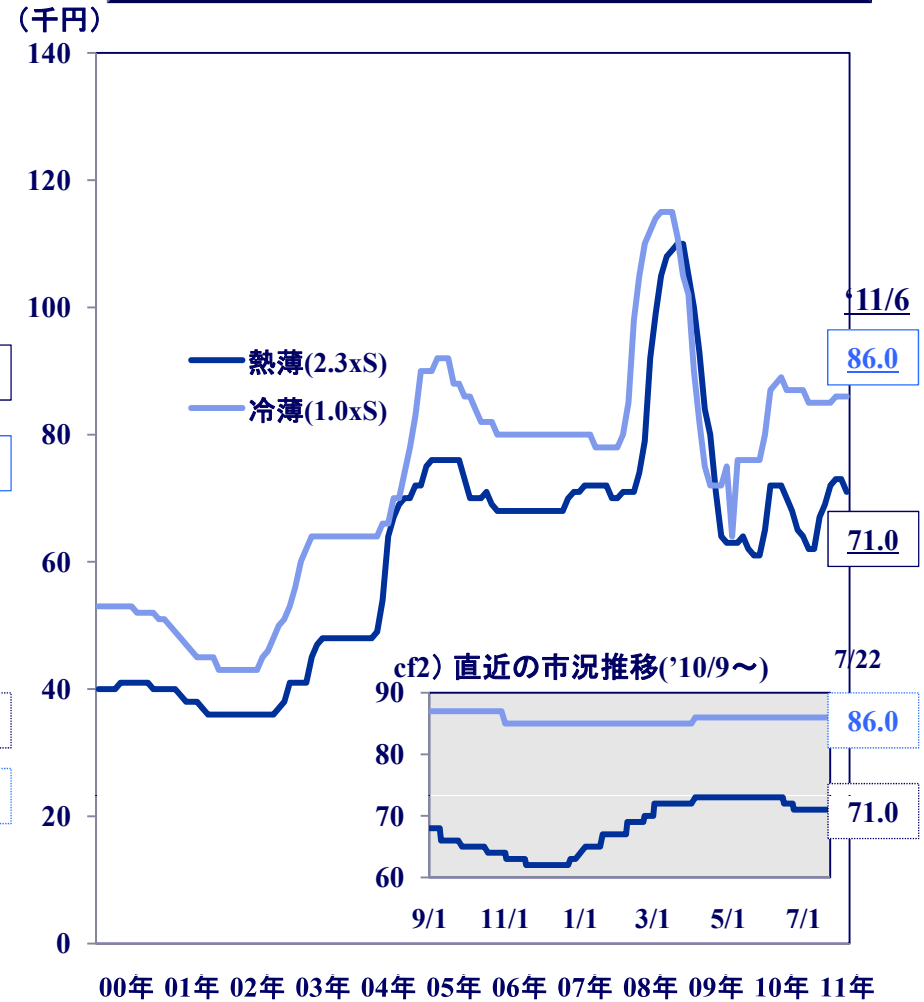
(出所: 日本鉄鋼連盟等)

国内鋼材市況（店頭価格）

厚板・H形鋼



熱延薄板・冷延薄板



世界の経済成長率推移

<2011年6月17日IMF改定値>

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 見通し 前回(2011.4.11)		2012 見通し	
世界合計	4.9	4.4	5.1	5.2	3.0	-0.5	5.1	4.4	4.3	4.5	4.5
先進諸国	3.2	2.6	3.0	2.7	0.5	-3.4	3.0	2.4	2.2	2.6	2.6
米国	3.6	3.1	2.8	2.1	0.4	-2.6	2.9	2.8	2.5	2.9	2.7
欧州	2.1	1.6	2.8	2.7	0.6	-4.1	1.8	1.6	2.0	1.8	1.7
日本	2.7	1.9	2.4	2.3	-1.2	-6.3	4.0	1.4	-0.7	2.1	2.9
新興諸国	7.5	7.1	7.9	8.3	6.1	2.7	7.4	6.5	6.6	6.5	6.4
中国	10.1	10.4	11.6	13.0	9.6	9.2	10.3	9.6	9.6	9.5	9.5
インド	7.9	9.1	9.8	9.4	7.3	6.8	10.4	8.2	8.2	7.8	7.8
ASEAN5 *	6.1	5.5	5.7	6.3	4.7	1.7	6.9	5.4	5.4	5.7	5.7
ロシア	7.2	6.4	7.4	8.1	5.6	-7.8	4.0	4.8	4.8	4.5	4.5
ブラジル	5.7	3.2	3.8	5.7	5.1	-0.6	7.5	4.5	4.1	4.1	3.6

*ASEAN 5 : タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ヴェトナム

(出所: IMF 世界経済見通し)

世界粗鋼生産量

(単位:百万t)

									2011暦年					年率換算
	1-3月	4月	5月	6月	4-6月	7-9月	10-12月	2010暦年	1-3月	4月	5月	6月	4-6月	
* 世界 合計 (対前年同期)	340.2 (+28.5%)	120.9 (+34.9%)	124.6 (+29.9%)	118.3 (+17.3%)	363.8 (+27.8%)	339.4 (+6.3%)	348.2 (+6.3%)	1,413.6 (+15.0%)	373.2 (+9.7%)	126.9 (+5.0%)	129.9 (+4.2%)	127.7 (+8.0%)	384.6 (+5.7%)	1,515.5 (+7.2%)
日本 (対前年同期)	26.5 (+50.7%)	9.0 (+56.7%)	9.7 (+50.2%)	9.4 (+35.9%)	28.1 (+47.0%)	27.4 (+12.9%)	27.7 (+4.0%)	109.6 (+25.2%)	27.8 (+4.7%)	8.4 (▼6.3%)	9.0 (▼7.0%)	8.9 (▼5.4%)	26.3 (▼6.2%)	108.1 (▼1.3%)
米国	19.6	7.0	7.3	7.1	21.3	20.2	19.7	80.6	21.1	7.1	7.3	7.2	21.6	85.3
欧州	42.7	15.4	16.5	15.1	47.1	40.4	43.1	172.9	45.6	15.8	16.3	15.7	47.8	186.8
ロシア	15.9	5.7	5.9	5.4	17.0	16.8	17.4	67.0	17.3	6.0	5.8	5.6	17.3	69.2
ブラジル	8.0	2.7	2.9	2.9	8.4	8.5	7.9	32.8	8.5	2.9	3.3	3.0	9.2	35.4
インド	16.7	5.8	5.9	5.6	17.2	17.1	16.8	66.8	17.7	6.2	5.9	6.0	18.0	71.3
中国 (対前年同期)	155.3 (+22.4%)	55.1 (+26.4%)	55.9 (+20.1%)	53.6 (+8.6%)	164.6 (+18.2%)	151.3 (▼1.5%)	152.0 (+3.5%)	626.7 (+9.3%)	171.3 (+10.3%)	59.0 (+7.1%)	60.2 (+7.8%)	59.9 (+11.9%)	179.2 (+8.9%)	701.1 (+11.9%)

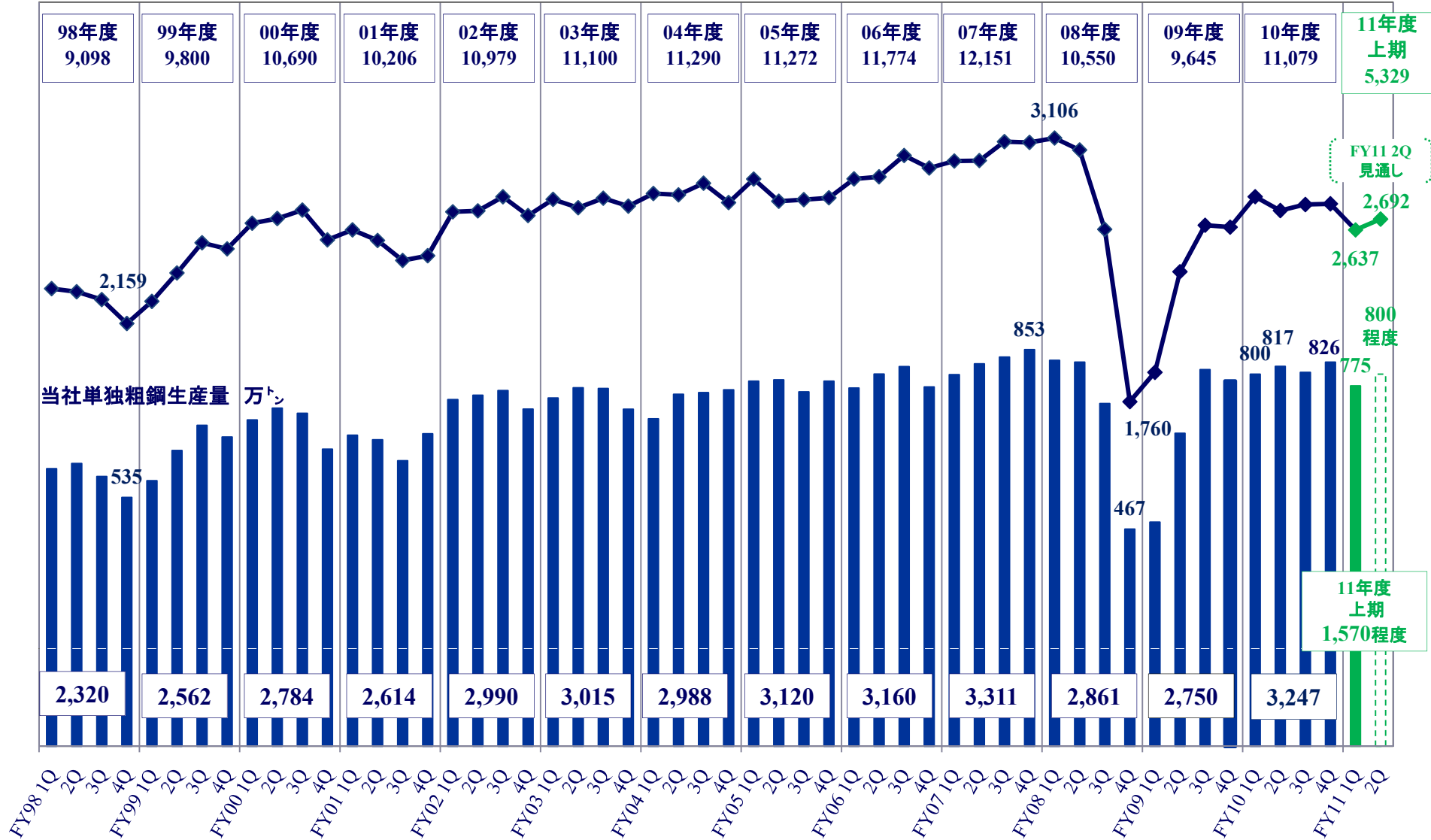
* 世界64カ国の合計値

(出所: World Steel Association)

全国・当社粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量 万ト

(2011/6/30 FY11 2Q粗鋼生産量 経済産業省発表)



製鉄事業諸元前提

	10年度							11年度		
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年度実績	1Q実績	2Q見通し	上期見通し
全国粗鋼生産量 万トン	2,807	2,736	5,542	2,766	2,770	5,537	11,079	2,637	2,692	5,329
当社出銑量 ^{*1} 万トン	777	814	1,592	815	811	1,626	3,218	776	820程度	1,600程度
連結粗鋼生産量 万トン 〈参考〉当社単独	863 <800>	872 <817>	1,735 <1,617>	868 <804>	889 <826>	1,757 <1,630>	3,492 <3,247>	830 <775>	850程度 <800程度>	1,680程度 <1,570程度>
当社鋼材出荷量 万トン	776	784	1,559	766	810	1,576	3,135	740	760程度	1,500程度
当社販売価格 千円/トン	79.1	86.4	82.8	81.4	79.7	80.6	81.7	85.8	92程度	89程度
鋼材輸出比率 (金額ベース) %	42.5	38.7	40.5	39.8	40.9	40.4	40.4	41.9	40程度	41程度
為替レート ¥/\$	93	86	90	83	82	82	86	82	80程度	81程度

*1 北海製鉄の出銑量含む

主要需要分野の鋼材消費推移

	10年度							11年度		
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	実見	1Q実見	2Q見通し	上期見通し
国内鋼材消費 万トン	1,474	1,535	3,010	1,560	1,434	2,994	6,004	1,340	1,507	2,848
製造業比率	67.7%	67.2%	67.5%	66.3%	65.5%	65.9%	66.7%	65.8%	69.1%	67.6%
普通鋼鋼材消費 万トン	1,172	1,221	2,393	1,242	1,148	2,390	4,783	1,059	1,184	2,244
建設 万トン	443	471	914	492	465	957	1,871	429	436	866
製造業 万トン	729	750	1,479	750	683	1,433	2,912	630	748	1,378
(うち造船) 万トン	144	142	286	141	139	280	567	140	140	280
(うち自動車) 万トン	275	281	555	269	225	494	1,049	184	278	462
(うち産業機械) 万トン	100	113	213	122	111	232	445	112	119	231
(うち電気機械) 万トン	79	86	165	85	82	167	332	78	84	162
特殊鋼鋼材消費 万トン	302	314	617	318	286	604	1,221	281	323	604

(出所:各種統計資料・当社推定)

主要需要分野の活動水準推移

		10年度					11年度 1Q実績	前年 同期比
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度 実績		
建築	住宅着工戸数 万戸	20	21	22	19	82	20	+4%
	非住宅着工 万㎡	1,072	1,238	1,059	1,080	4,449	1,180	+10%
自動車	完成車生産台数 万台	230	248	230	191	899	154	▼33%
	完成車輸出台数 万台	118	120	132	111	480	81	▼31%
	海外生産(8社) 万台	310	320	344	360	1,695	*1 269	▼13%
産業機械	大中型ショベル 千台	11	15	17	16	59	14	+26%
	金属工作機械 千トン	71	89	95	107	362	96	+34%
	フォークリフト 千台	25	27	28	25	106	28	+10%
電機	鉱工業生産指数 *2 (原数値) 05年=100	94	91	97	95	95	97	+3%
造船	新造船起工 (当社推定) 万GT	450	450	440	440	1,780	440	▼2%

*1 新聞報道ベース

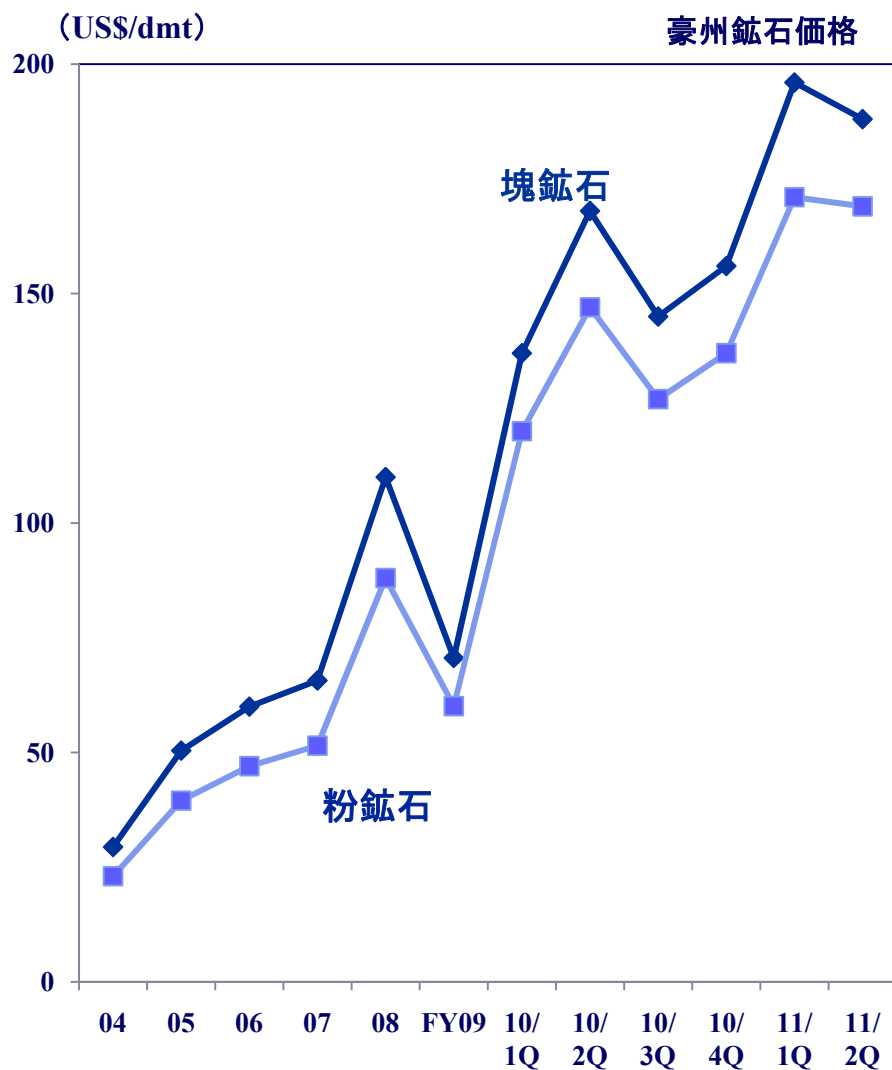
*2 電気機械工業(品目番号40)

(出所:各種統計資料・当社推定)

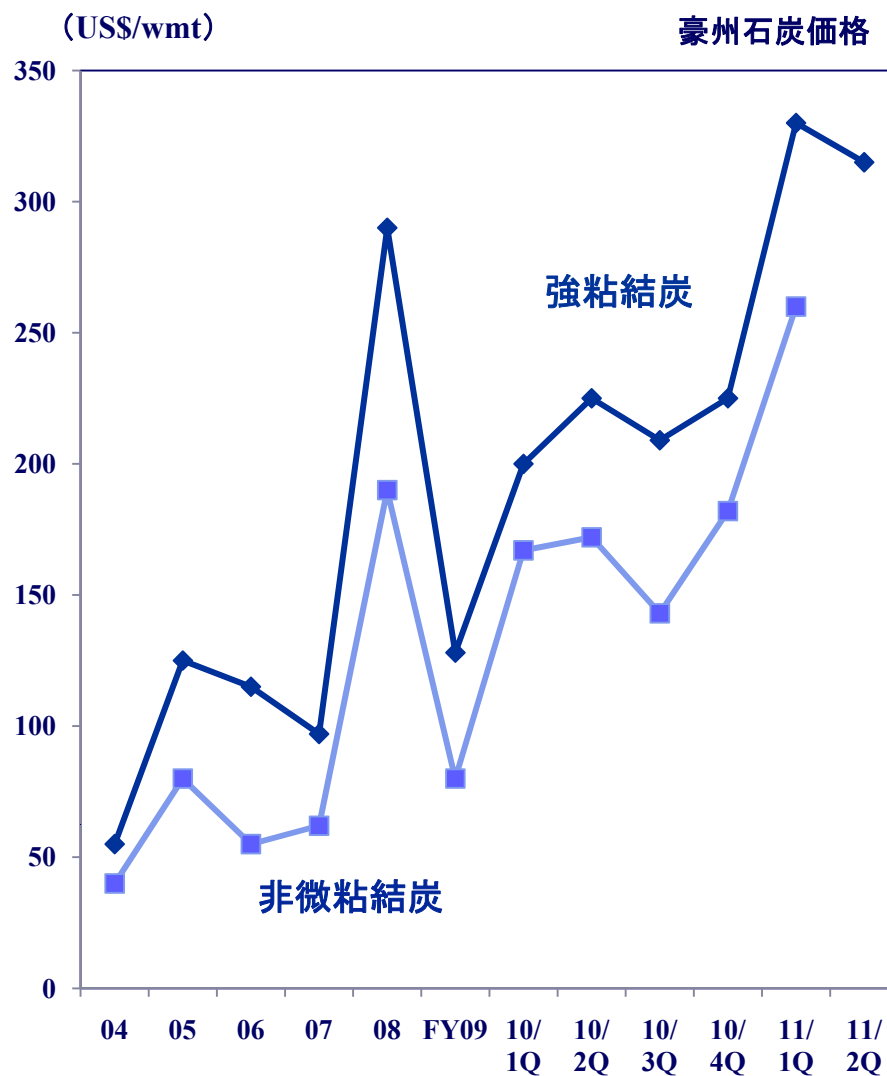
Cf) 11FY 自動車生産台数(8社) 2,315万台(対前年度+4%程度) (7/22 日経新聞ベース)

鉄鉱石・原料炭の国際価格推移

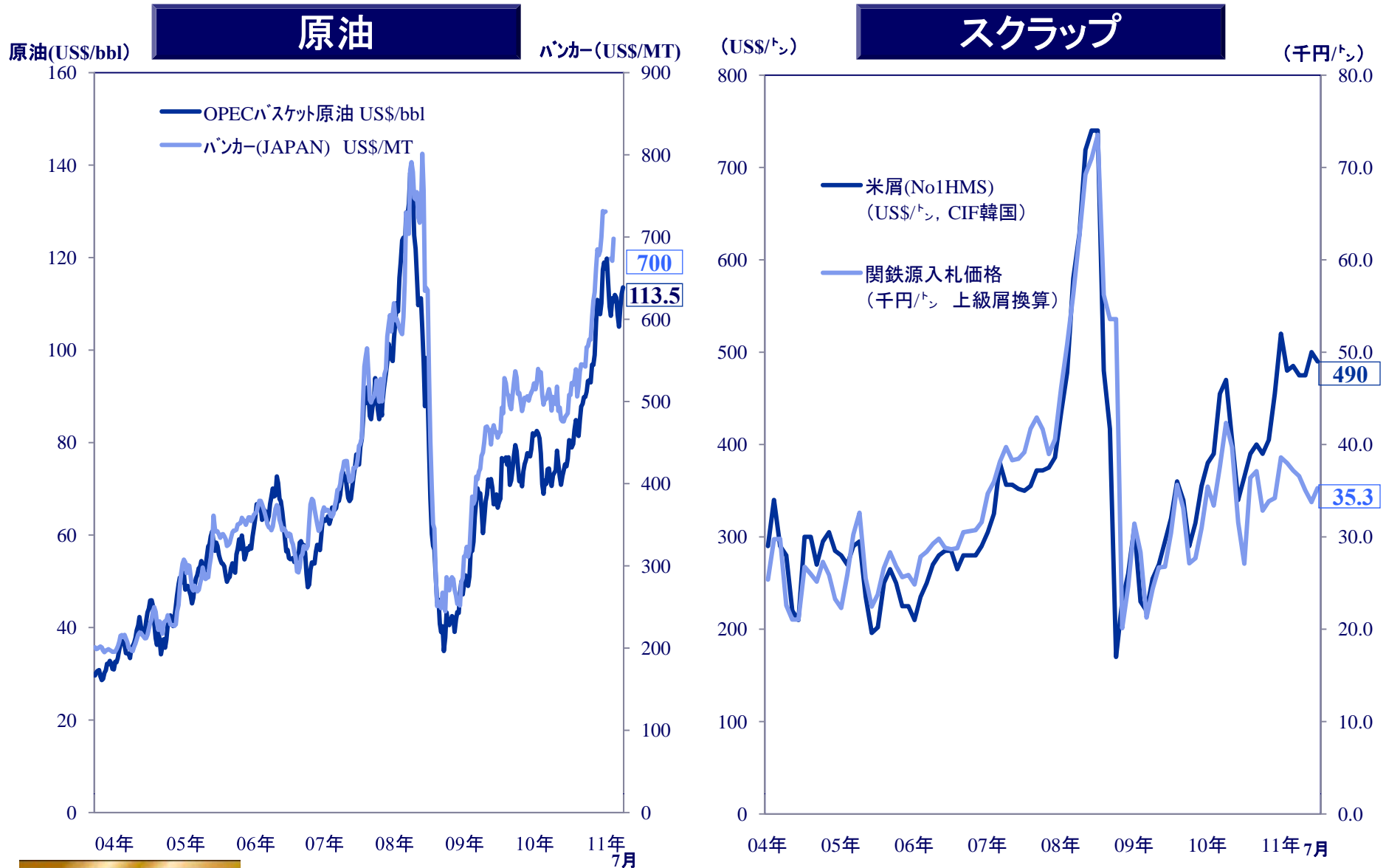
鉄鉱石



原料炭



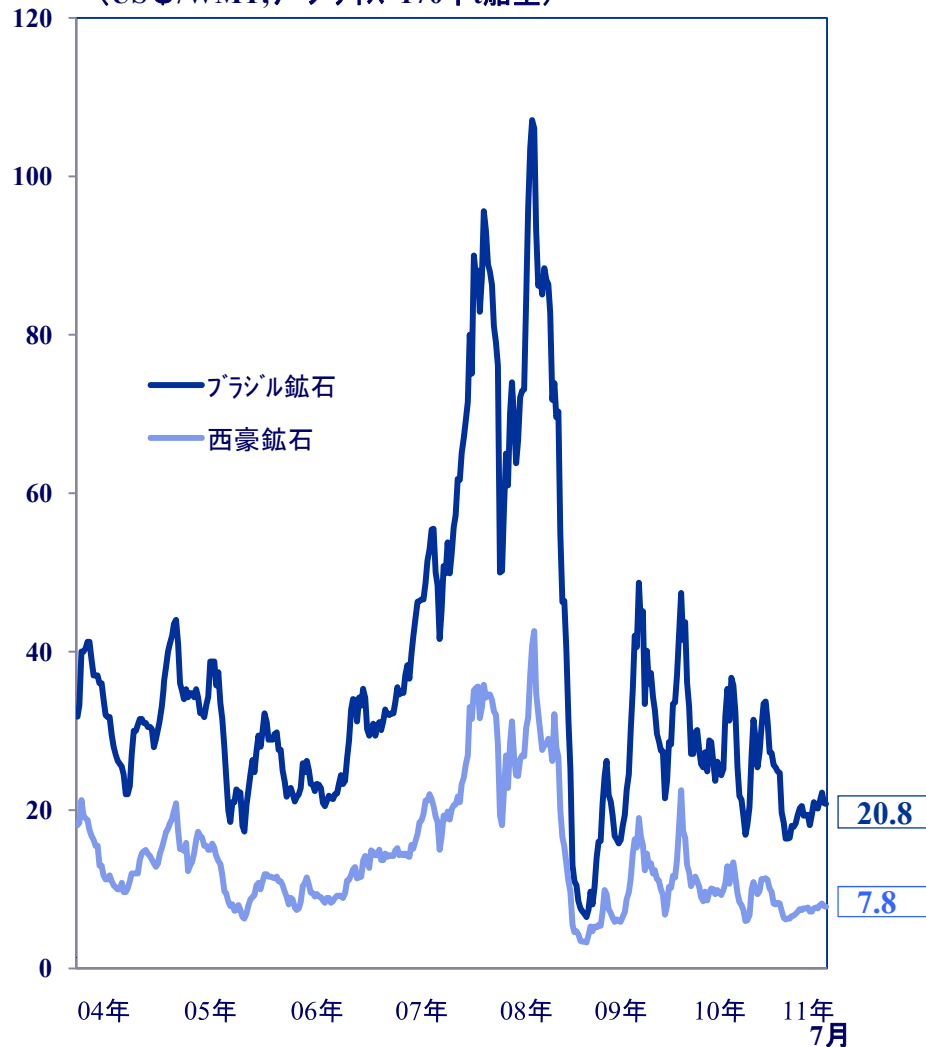
原料市況 <原油・スクラップ>



原料市況 <フレート・型鉄>

フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)



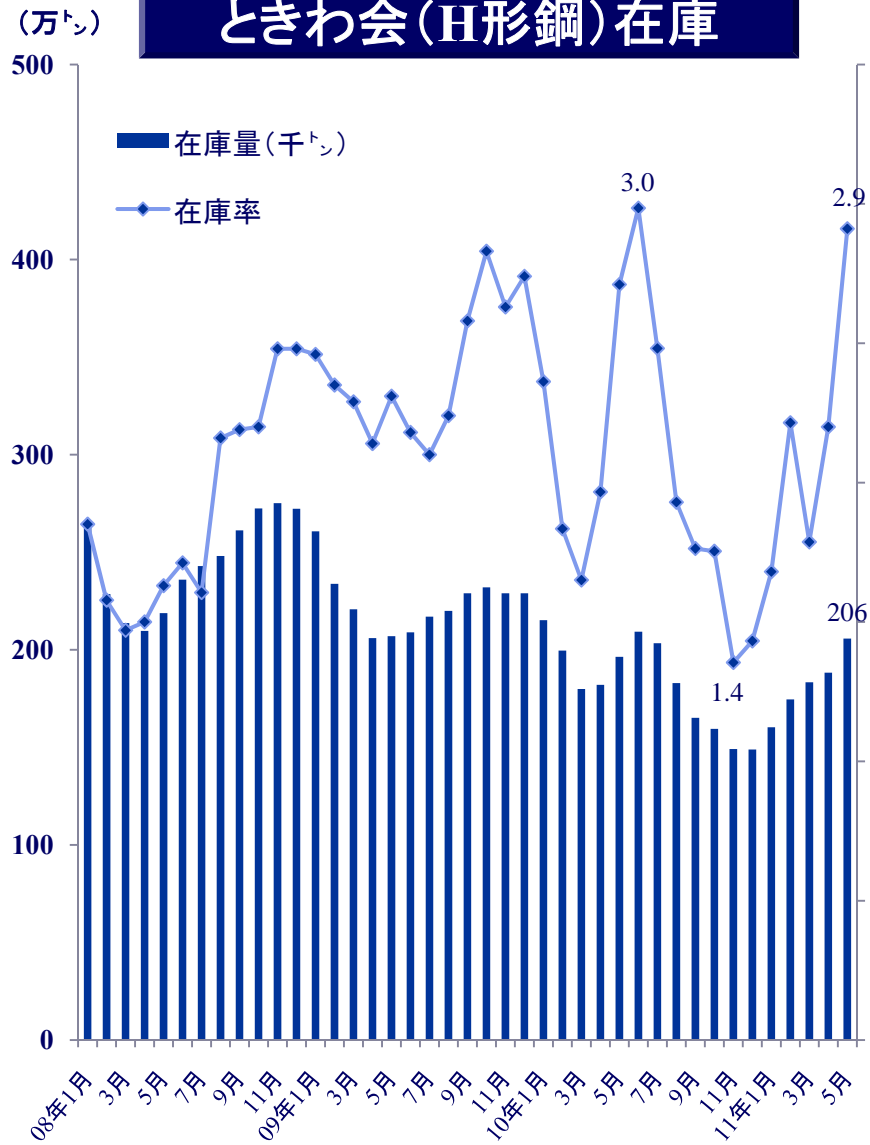
型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)

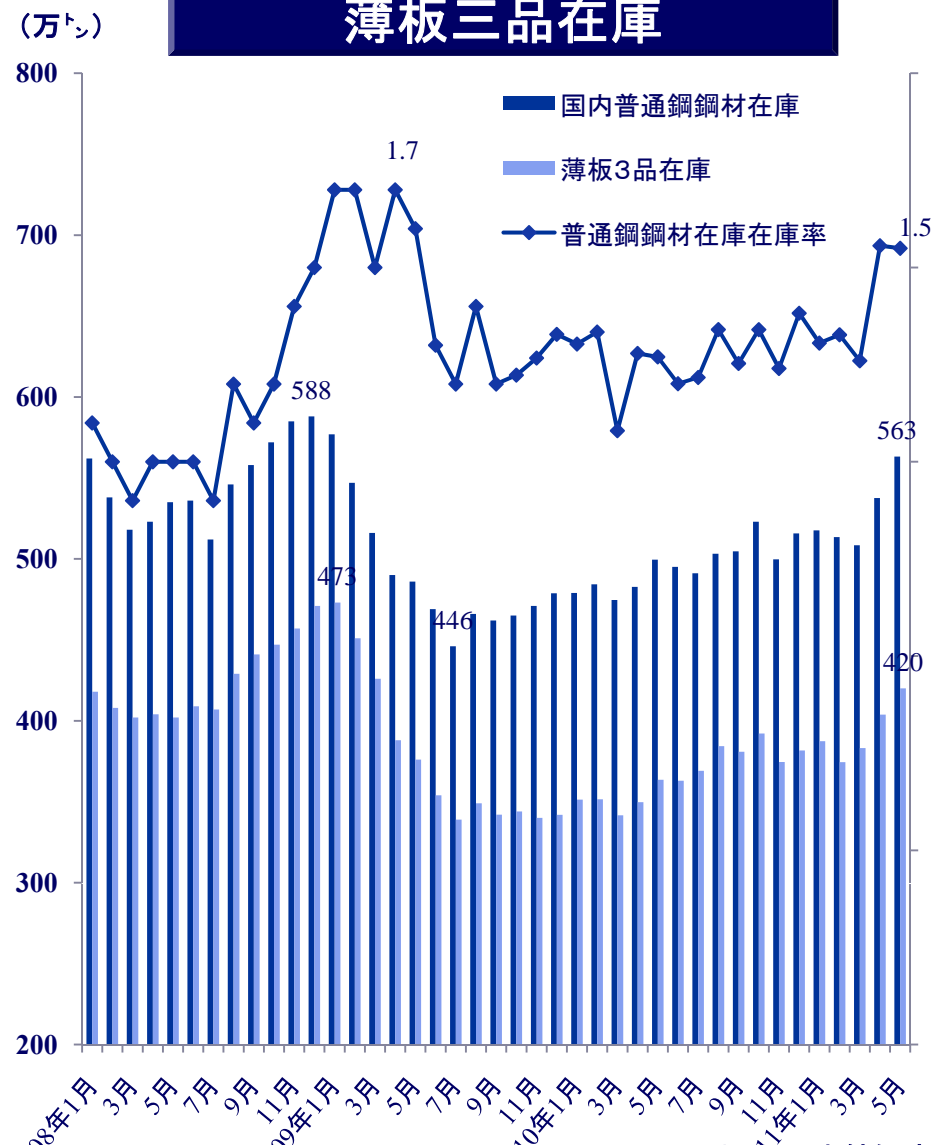


国内鋼材在庫推移

ときわ会(H形鋼)在庫



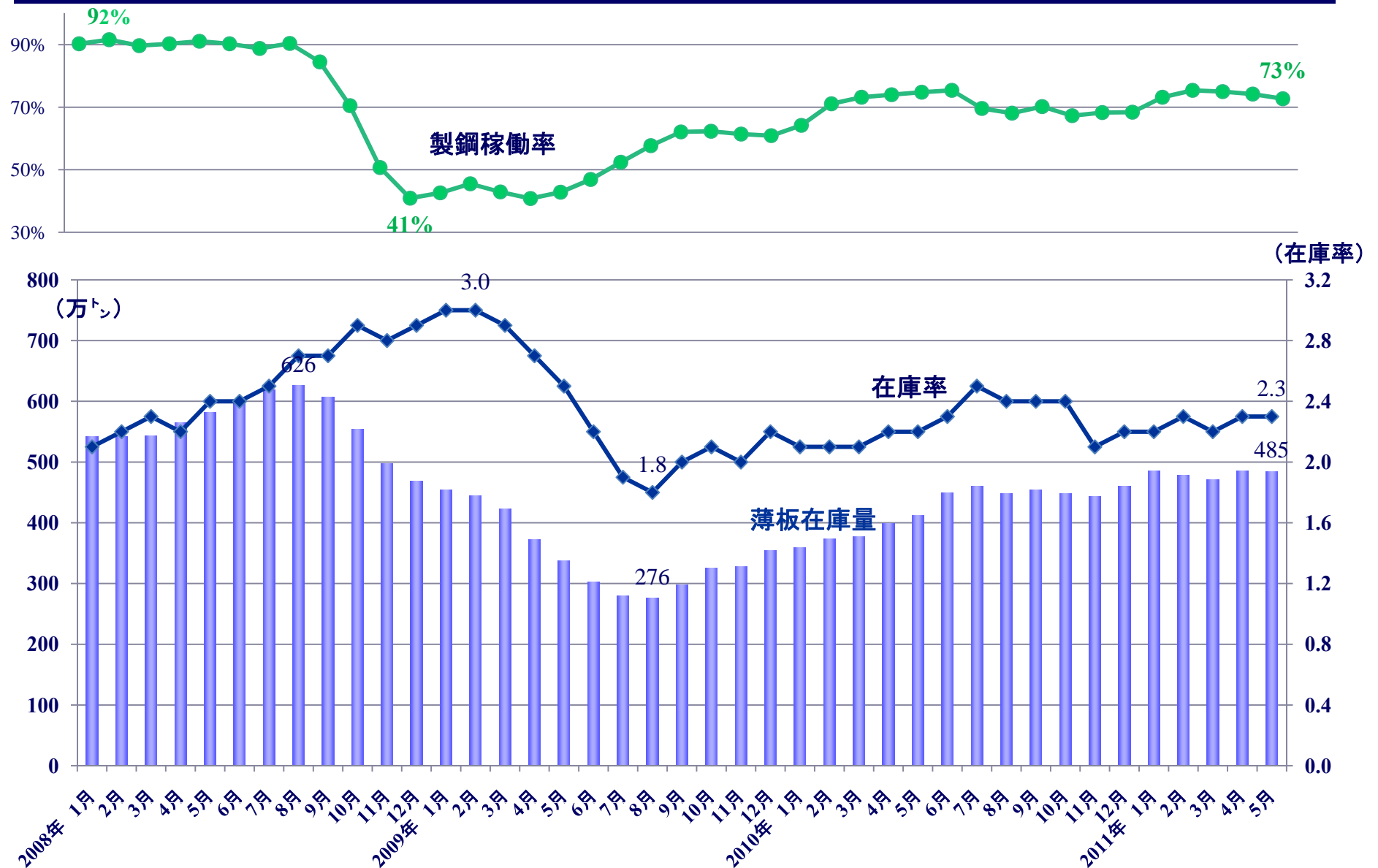
薄板三品在庫



(出所:日本鉄鋼連盟)



米国鋼材在庫量・製鋼稼働率推移



当社と日経平均株価推移(2006年4月起点指数グラフ)

(2006/04/01終値=1.0)



経営統合に向けたスケジュール

新日本製鐵

FY2010 粗鋼生産量
約3,500万t

住友金属工業

FY2010 粗鋼生産量
約1,300万t

2011年6月30日
第1次審査から第2次審査へ移行

2012年4月までに 合併契約書

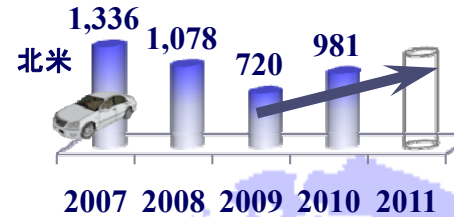
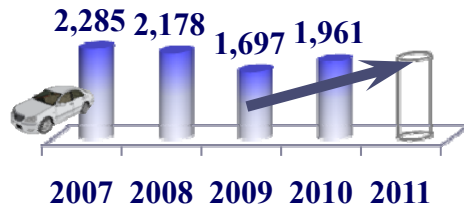
2012年6月 定時株主総会

2012年10月1日 合併
(事業持株会社 ~ Speed重視~)



2011年2月3日
当社 宗岡社長(左)と
住友金属工業(株) 友野社長(右)

グローバル自動車用鋼板等供給体制



米国
I/N Tek 40%
I/N Kote 50%

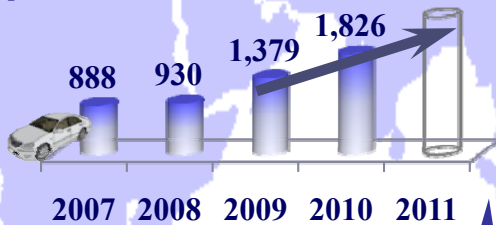
欧州
Arcelor Mittal社/技術クロスライセンス

海外JV生産合計
680万トン
(当社持分換算
300万トン程度)

[冷延170万ショートトン/CAPL120万ショートトン]
[CG50万ショートトン/EG45万ショートトン]

中国
BNA 38%

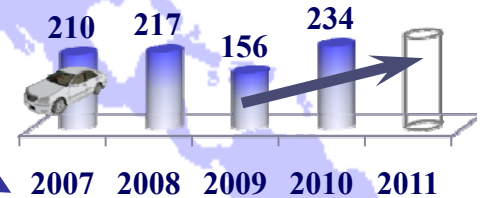
[冷延220万トン/CAPL95万トン/CG125万トン]



タイ SUS 45%
[冷延 100万トン]

メキシコ
TENIGAL 49%

新CGLライン[40万トン]稼働(2013年)



6/16 新会社
設立

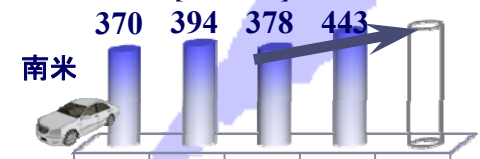
タイ 100%
Nippon Steel
Galvanizing(Thailand) Co., Ltd.

[CG 36万トン]稼働(2013年)



ブラジル
UNIGAL 30%

[CG 48万トン]
#2CGLライン[55万トン]増設(2011年)



インド
TATA社とのJV 49%

新冷延ライン[60万トン]稼働(2013年)



完成車生産台数
(実績・予測)万台



(出所: 各種公表情報等・当社推定)

先進のその先へ、新日鉄

www.nsc.co.jp

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。